

経営比較分析表（平成30年度決算）

京都府宮津市 宮津駅前駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 3 B 1	非設置
自己資本構成比率 (%)	種類	構造	建設後の経過年数 (年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	17	

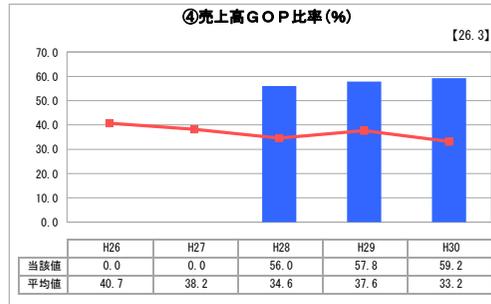
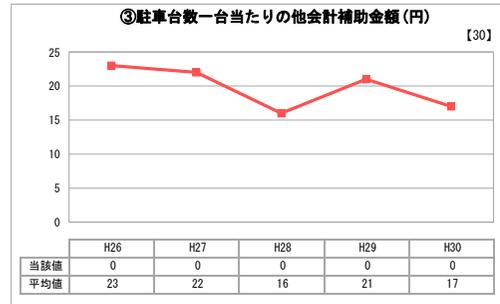
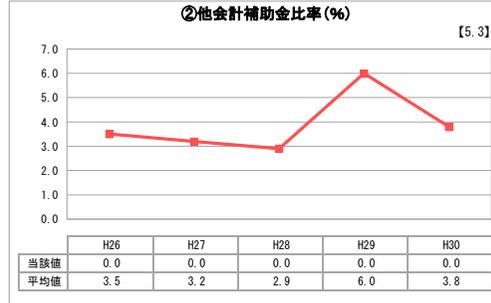
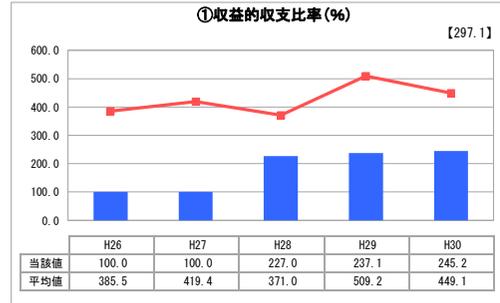
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積 (㎡)
駅	無	1,400
収容台数 (台)	一時間当たりの基本料金 (円)	指定管理者制度の導入
39	500	導入なし

グラフ凡例

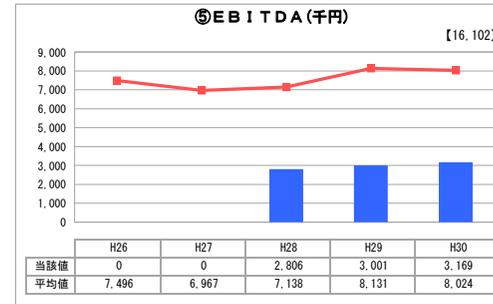
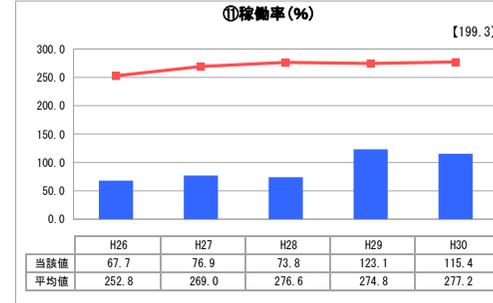
- 当該施設値 (当該値)
- 類似施設平均値 (平均値)

【】 平成30年度全国平均

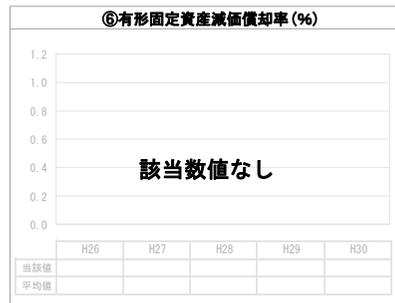
1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

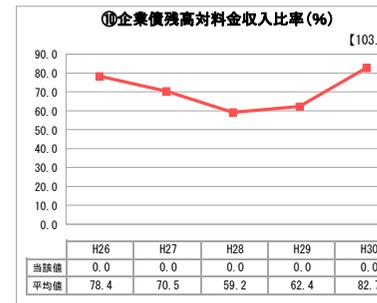
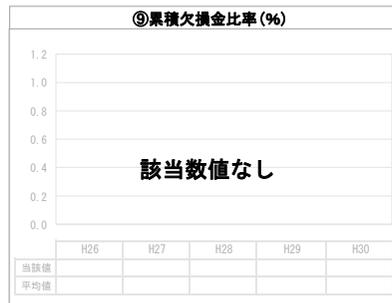


⑦敷地の地価 (千円)

9,514

⑧設備投資見込額 (千円)

0



分析欄

1. 収益等の状況について
 京都丹後鉄道「宮津駅」の北側に位置する宮津駅前駐車場は、市内唯一の24時間営業のコインパーキングで、H28から3年連続で収益的収支比率200%を超えており、他会計からの補助金も無い健全な経営を行っている。

※本事業は一般会計にて統合運用
 ※H28より会計処理を変更
 平成27年度決算まで、料金収入額を支出額と同額とし、未計上分の収入額を一般会計の使用料収入として計上していたが、この仕様では建設改良事業費等の臨時的経費の有無に応じて料金収入額が急増・急減することになるため、平成28年度から料金収入は正味の額を計上し、利益分は一般会計繰出金として計上。

2. 資産等の状況について
 特に無し。

3. 利用の状況について
 宮津駅は京都丹後鉄道のターミナル駅であるとともに、相互乗り入れを行っているJR嵯峨野・山陰線の特急車両の停車駅であること、都市部への高速バス発着点であることから、長時間駐車のパーク&ライド利用が中心。
 H28に駐車場の区画線を引き直し、1台当たりの駐車用面積を広くしたことで利便性が向上。その分収容車数は若干減少したものの、H29~H30の実績から、整備前に比べ稼働率や収益が改善している。

全体総括
 安定した経営状況であり、公共駐車場としての重要な役割を果たしている。